

交通安全☆ひと言

街角を大輪の紫陽花が彩り始めましたね。不安定なお天気に惑わされないように、今日も「交通安全」で参りましょう！

曇天・雨天が多くなるこの時季、路上ではいつも以上に慎重な通行をおすすめします。

「環境」は人に大きな影響を与えます。例えば一流のスポーツ選手であっても、同じような競技会場であるにも関わらず、照明や空調、観客の雰囲気などの微妙な差異が体調や心境に変化を及ぼし、期待した結果が得られない場合があります。

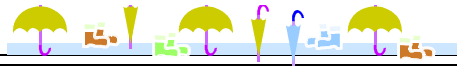
私たちが行き慣れた同じような道路も、天候によるちよつとした視界不良や音の間こえにくさ、ぬれた路面などの環境の変化はつきものです。この違いの重要性に気付き、柔軟に対応することが交通安全の秘訣といえます。

歩行者Aさん：足元が滑りやすいから余裕をもって横断しよう。

運転者Bさん：視界が悪いし運転速度は控えめにしよう。

自転車Cさん：ここは風が強い場所だから自転車を降りて歩こう。

みなさん、交通安全の超一流ですね！



台風・集中豪雨への備え

例年、梅雨期・台風期に、全国各地で集中豪雨、河川の氾濫・土砂崩れ等により多数の被害が発生しており、昨年は、平成30年7月豪雨をはじめ、全国で甚大な被害が発生しました。こうした被害の未然防止のため、日頃からしっかりと備えておきましょう。



◎ 備え

- ◇ 地域のハザードマップなどで、自宅・職場等にどのような災害の危険があるかを確認しましょう。
- ◇ 学校や公民館などの避難場所や避難経路を確認しておきましょう。
- ◇ 懐中電灯、携帯用ラジオ、食料等の非常持出品を備えましょう。

◎ 把握

- ◇ 台風等の荒天時は、テレビやラジオで気象情報をこまめに確認しましょう。
- ◇ インターネットも有効活用しましょう。

◎ 避難

- ◇ 早めの避難を心掛けましょう。
- ◇ 声を掛け合い、複数人で避難しましょう。

